



2025 年 4 月 23 日

各位

ENEOS Xplora 株式会社

早稲田大学による CCS/CCUS 貯留層評価技術に関する研究への寄付について

当社（社長：忍田 泰彦）は、学校法人早稲田大学（早稲田大学教授 大内 久尚研究室、以下、「早大」といいます。）が実施する CCS/CCUS 貯留層評価技術に関する研究に対して寄付を行いましたので、お知らせいたします。

当社は、エネルギー・資源・素材を事業分野とする ENEOS グループの主要事業会社として、従来の石油・天然ガスの開発・生産事業に加え、近年では CCS/CCUS（注 1）を中心とした環境対応型事業にも積極的に取り組んでおり、「二軸経営」の推進を図っております。今回の寄付は、そうした二軸経営の一環として、貯留層（注 2）評価技術に関する早大の学術研究活動を支援するものです。

早大は、これまでに貯留層工学諸現象の解明、石油増進回収技術、非在来型炭化水素資源・新エネルギー開発技術および環境と調和したエネルギー開発技術等に関する研究に取り組んできました。特に、貯留層シミュレータ開発を通じて、地下における流体挙動を高精度に予測する手法の研究を進めています。これらの貯留層評価技術は、資源開発において重要な役割を果たしますが、CCS/CCUS にも応用が進められており、安全かつ効果的なプロジェクト実施のための不可欠な要素となっています。本研究では、CCS/CCUS における地下での流体挙動の解明や高精度なシミュレーションモデルの開発が期待されます。

当社は、本研究を通じて得られる知見が持続可能なエネルギー開発と環境負荷の低減に資するものと考えており、今後も産官学との連携を強化し、エネルギーの安定供給に貢献してまいります。

以 上



（注 1）CCS/CCUS（Carbon Capture and Storage / Carbon Capture, Utilization, and Storage）：二酸化炭素の回収・貯留および有効利用技術

（注 2）貯留層：孔隙（すきま）を多く有する多孔質の岩石からなる地層。この孔隙に石油やガスが存在しているケースがあるほか、CO₂の圧入にも適している地質のこと

